阿久根市立 脇本小学校（本務校）

折多小学校（兼務校）

算数

○ 学校の概要

脇本小学校　学級数　12学級　児童数　194人　教員数　17人
折多小学校　学級数　8学級　児童数　79人　教員数　12人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	5時間	脇本小
算数	6年	5時間	脇本小
算数	6年	5時間	折多小

本務校で5･6年生の算数を1クラスずつ計10時間，兼務校で6年生の算数を1クラス計5時間担当している。

○ 令和5年度の成果

- 教科の専門性を生かした質の高い授業を展開することができ，学力向上につながった。
- 学級担任と教科担任が連携を図ることで，多面的な児童理解につながった。
- 教科担任が指導する教科については，同じ教師が授業を行うため，系統性を生かした授業改善の視点が明確になった。

○ 令和5年度の課題

- 家庭学習の見届けや，欠席児童に対しての授業の補充が必要な場合に，指導時間を十分に確保することが難しい。
- 日程変更や行事の実施に伴う時間割の調整が難しいため，その調整に多くの時間を要する。
- 担任と教科担任が指導する教科が異なるため，当該学年の指導の際に，教科横断的な学習を計画することが難しい。また，教科の枠を超えた協働的な授業実践にも課題がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	理科	3～6年	15時間
B	音楽科	5･6年	2.8時間
C	外国語科	6年	2時間
D	外国語活動	3･4年	3時間
D	外国語科	5年	2時間

理科専科Aが3～6年生5クラスの理科を15時間担当している。
中学校の音楽科担当Bが5，6年生2クラスの音楽科を2.8時間担当している。
中学校の英語科担当Cが6年生1クラスの外国語科を2時間担当している。
4年1組担任Dが3･4年生3クラスの外国語活動を3時間と，5年生1クラスの外国語科を2時間担当している。

霧島市立 宮内小学校（本務校）

小野小学校
小浜小学校
（兼務校）

外国語

○ 学校の概要

宮内小学校	学級数　26学級	児童数　542人	教員数　37人
小野小学校	学級数　9学級	児童数　205人	教員数　14人
小浜小学校	学級数　5学級	児童数　28人	教員数　8人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
外国語	5年	6時間	宮内小
外国語	6年	6時間	宮内小
外国語	6年	2時間	小野小
外国語	5･6年	2時間	小浜小

本務校で5･6年生の外国語を1クラスずつ計12時間，兼務校で5･6年生の外国語をそれぞれ1クラスずつ計4時間担当している。

○ 令和5年度の成果

・ 英検ESGを受験した。総合スコア(434/550)，リスニング(193/275)，リーディング(241/275)と合格スコアを上回った。また，昨年度と比較し，今年度の成績が全て上回った。
・ 2年間，専門性のある教員が指導することにより，児童とのやり取りを英語で行う場面が増え，児童はより多くの英語を聞いたり，話したりすることができた。外国語が好きになった児童も増えた。

○ 令和5年度の課題

・ 2年目になり，兼務校の学級担任との打合せや時間調整はスムーズにできるようにはなってきたが，うまくいかないことも時折あった。
・ 本務校の児童に比べ，兼務校の児童と接する時間が短いこともあり，児童や学級の実態によっては授業をうまく進められないこともあった。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	理科	5･6年	18時間
B	音楽	5･6年	12時間

理科専科が5･6年生の理科を1クラスずつ計18時間，音楽専科が，5･6年生を1クラスずつ計12時間担当している。

伊佐市立 羽月西小学校（本務校）

曽木小学校
針持小学校
（兼務校）

算数

○ 学校の概要

羽月西小学校	学級数 5学級	児童数 13人	教員数 8人
曽木小学校	学級数 6学級	児童数 32人	教員数 8人
針持小学校	学級数 5学級	児童数 18人	教員数 7人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5･6年	5時間	羽月西小
算数	5･6年	5時間	曽木小
算数	5･6年	5時間	針持小

本務校で5･6年生の算数を1クラス5時間，兼務校で5･6年生の算数を1クラス5時間担当している。
また，各校への移動は5～15分で行っている。

○ 令和5年度の成果

- 算数を嫌いという児童が減り，授業の内容もよく分かると答える児童が増えている。また，数値的にも，5･6年とも，正答率は上がっており，学力向上が図られている。
- 学習の様子を週に1回の算数通信で学級担任や保護者に配布して，学習内容や子供たちの成長を伝えることで，学校内や保護者に教科担任制や学習状況への理解を深めることができた。また，家庭において算数について児童と話し合う機会も増えている。
- 算数通信で他の学校の児童の様子を共有し，他校の児童のノートの取り方などを知ることで，自分の学習に取り入れることができた。
- 担任が児童と向き合う時間や教材研究の時間が増えた。

○ 令和5年度の課題

- 欠席した児童が受けることができなかった授業の補完や家庭学習の見届けが必要な場合，学校間移動時間の調整や休み時間を使った指導を行っているが，十分な指導とはいえないので，時間の設定や学級担任との指導方法の調整が難しい。
- 加配教員が授業を行っている際は，基本的に他教科の教材研究や校務処理の時間としたが，児童の実態から学級担任がT2的な立場として，指導に加わることがあった。業務改善の視点からTTという体制で行ってよいか考慮することがあった。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	音楽	3･4，5･6	3.1時間
A	理科	5	3時間
B	理科	3	3時間
B	社会	5	3時間

完全複式の本校では，教科担任制導入により，交換授業による複式解消への意識が高まり，学校全体で取り組んだ。
音楽は、3～6年を教科担任で実施。3･4年，5･6年理科，5･6年社会科で複式解消した。

姶良市立
帖佐小学校

算数

○ 学校の概要

帖佐小学校　学級数　23学級　児童数　462人　教員数　45人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	帖佐小
算数	6年	10時間	帖佐小

5年生で算数を2クラス計10時間，6年生で算数を2クラス計10時間担当している。

○ 令和5年度の成果

- 高学年全クラスを算数専科が担当したことでより工夫した教材を計画的に準備できるとともに，全学級の授業に生かすことができた。
- 専門的な立場で全クラスを担当することで，児童一人一人や学級，学年全体の課題をより丁寧に捉えることができ，課題に応じた指導法を工夫したり対応したりすることができた。
- 学級担任の授業時数減により，担任が他の教科の学習準備等を行う時間がもてた。

○ 令和5年度の課題

- 各担任と情報交換する中で，他教科における定着状況と比較・検討し，学級や学年に必要な取組をより明確にする必要がある。
- 高学年だけでなく，中学年までの学習内容の定着状況を分析し，学年の系統や実態に応じた指導方法の工夫や対応を学校全体で取り組む必要がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	音楽	4～6年	19.8時間
B	理科	4～6年	23.6時間

音楽専科Aが4～6年の音楽を19.8時間、理科専科Bが4～6年の理科を23.6時間担当している。

湧水町立 吉松小学校（本務校）

栗野小学校（兼務校）

算数

○ 学校の概要

吉松小学校　学級数　9学級　児童数　73人　教員数　16人
栗野小学校　学級数　11学級　児童数　187人　教員数　18人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	5時間	吉松小
算数	6年	5時間	吉松小
算数	5年	5時間	栗野小

本務校で5･6年生の算数を1クラスずつ計10時間，兼務校で5年生の算数を5時間担当している。

○ 令和5年度の成果

・ 高学年担任の持ち時数の軽減により，教材研究の時間や事務作業の時間が確保でき，業務改善につながった。
・ 教科担任として教科の内容を深く研究することができ，授業改善に生かすことができた。そのことが，児童の学習内容の理解や意欲の向上にもつながった。
・ 高学年担任との連携が深まり，学習指導だけでなく，生徒指導に関する内容についても情報共有ができた。

○ 令和5年度の課題

兼務校への移動に時間を要するため，児童への個別指導の時間が十分確保できなかった。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科等	学年	週時数
A	音楽	5，6年	2.8時間
A	家庭	5，6年	3.4時間
B	図画工作	5，6年	2.8時間
C	社会	5，6年	6時間
D	外国語	5，6年	4時間

専科担当教員Aが5，6年生の音楽と家庭科を1クラスずつ計6．2時間，小学校専科加配教員Bが5，6年生の図画工作を1クラスずつ計2．8時間，児童支援加配Cが5，6年生の社会を1クラスずつ計6時間，SET加配教員Dが5，6年生の外国語を1クラスずつ計4時間担当している。

鹿屋市立 大姶良小学校

算数

○ 学校の概要

大姶良小学校 学級数 15学級 児童数 340人 教員数 28人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	大姶良小
算数	6年	10時間	大姶良小

5年生で算数を2クラス計10時間，6年生で算数を2クラス計10時間担当している。

○ 令和5年度の成果

- 教科担任制による授業としての他，分担授業や交換授業などのシステムを構築し，実践することができた。
- 児童と職員の関係性が深まり，児童の見守りや声掛けが大幅増えた。また，複数の教員が関わることで，より多くの職員とのつながりを実感しながら学校生活を送っている児童が多い。
- 持ち時数が軽減されたことで教材研究の時間が確保され，授業の質の向上につながった。
- 小学校で教科担任制を経験したため，約9割の生徒が中学校における教科担任制へスムーズに移行している。中1ギャップ解消への手立ての一つとなっている。

○ 令和5年度の課題

- 教科の専門性について，専科・教科担任として教材研究等の研鑽を積み重ねていかなければならない。
- 指導者や教科によって，態度を変える児童がいたり，指導者の対応が違ったりすることを気にする児童がいたりする。そのため，学校全体での学習や生徒指導等の共通実践事項について情報を共有することが必要である。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	理科	3～6年 3年は1学級のみ	20.6時間
B	音楽	1～6年	20.4時間
C・D	国語	2年	2時間（各1時間）

理科専科Aが3年1組と4～6年の理科を20.6時間，音楽専科Bが1～6年の音楽を20.4時間担当している。6年担任C・Dが2年の国語をそれぞれ1時間担当している。

専科授業（外国語）

専科授業（算数）

曽於市立 財部小学校

算数

○ 学校の概要

財部小学校 学級数 15学級　児童数 283人 教員数　30人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	財部小
算数	6年	10時間	財部小

5年生2クラスの算数を計10時間，6年生2クラスの算数を計10時間，合計20時間担当している。

令和5年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例 22

○ 令和5年度の成果

- 高学年の単元系統を意識した授業を行うことができた。
- 学級担任の指導時数減により，余裕ある学級経営ができた。
- 担当教員と学級担任が学習の情報交換を行うことで，多面的な児童理解につながった。
- 教科担任制の実施により，多くの先生と学ぶ楽しさやよさを感じている児童が増えた。

○ 令和5年度の課題

- 専科の教科指導での児童一人一人の学びの更なる活性化を図るため，児童が協働で学ぶ場を設定し，「学びの共同体」の実践を深めたい。
- 専科の授業の一部に学級担任の支援ができるよう調整していきたい。
- 専科教科と同学年担任による教科交換授業に対して，時間割調整の難しさに対する手立てを今後も模索する必要がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	（専科）外国語	5･6年	8時間
B	（専科）　理科	5･6年	12時間
C	（交換）　社会	5年	6時間
D	（交換）音楽･家庭	6年	6時間
E	社会	6年	6時間
F	体育	6年	5時間

5･6年とも2学級編制。専科授業では，Aが外国語5･6年4クラス8時間，Bが5･6年理科4クラス12時間担当している。交換授業では，5年担任Cが5年社会2クラス6時間，5年担任Dが5年音楽･家庭科2クラス6時間，6年担任Eが6年社会2クラス6時間，6年担任Fが6年体育2クラス5時間を担当している。

令和5年度小学校高学年教科担任制モデル校　実践事例　23

垂水市立
垂水小学校
（本務校）

水之上小学校
（兼務校）

算数

○ 学校の概要

垂水小学校	学級数	16学級	児童数	336人	教員数	28人
水之上小学校	学級数	8学級	児童数	71人	教員数	13人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	垂水小
算数	5年	5時間	水之上小

本務校で5年生の算数を2クラス計10時間，兼務校で5年生の算数を1クラス計5時間担当している。

○ 令和5年度の成果

- 児童一人一人の課題を把握しやすいため，個に応じた指導を適切に行うことができた。また，担任との情報共有・相談もできた。
- 教材研究の時間を十分に確保することができ，実態を踏まえた教材・教具等の準備を確実に行うことができた。
- 児童の実態を学年会等で担任と共有し，授業と関連付けた家庭学習の充実を図ることができた。

○ 令和5年度の課題

- 教科の枠を超えた教科等横断的な学びの視点を取り入れていくことが難しかった。
- 他の学校と兼務していることもあり，互いの学校行事など重なると時間割の調整が難しかった。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	理科	5年	6時間
B	社会	5年	6時間
C	音楽	2～6年	16時間
D	外国語	5・6年	8時間

教諭Aが5年生の理科を2クラス計6時間，教諭Bが5年生の社会を2クラス計6時間，教諭Cが2～6年生の音楽を8クラス16時間，教諭Dが5・6年外国語を4クラス8時間担当している。

志布志市立 伊崎田小学校（本務校）

泰野小学校
山重小学校
（兼務校）

外国語

○ 学校の概要

伊崎田小学校	学級数	8学級	児童数	74人	教員数	14人
泰野小学校	学級数	8学級	児童数	47人	教員数	13人
山重小学校	学級数	6学級	児童数	48人	教員数	10人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
外国語	5年	2時間	伊崎田小
外国語	6年	2時間	伊崎田小
理科	5年	3時間	伊崎田小
理科	6年	3時間	伊崎田小
外国語	5･6年	2時間	泰野小
外国語	5･6年	2時間	山重小

本務校で5･6年生の外国語を週4時間，5，6年生の理科を週6時間，計10時間担当している。兼務校の泰野小学校で5･6年生の外国語を週2時間，山重小学校で5･6年の外国語を週2時間担当している。

○ 令和5年度の成果

- 高学年の外国語を専科が担当することにより，授業の質が高まり，児童も意欲的に取り組んでいる。
- 専科指導が入ることにより，担任の空き時間が増え，他の教科の指導も充実してきている。
- 本務校と兼務校と連携することにより，教育課程について，情報交換することができた。

○ 令和5年度の課題

- 今年度は，専科指導，交換授業を中心に行ったが，教科担任制の実践まで行えていない。来年度は，今年度培った経験を生かし，教科担任制を行っていく。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	音楽	1～6年	9.5時間
A	家庭	5･6年	3.4時間

5年担任Aが1～6年生の音楽の授業を週9.5時間，5･6年生の家庭を週3.4時間担当している。

中種子町立 野間小学校

算数

○ 学校の概要

野間小学校 学級数 12学級　児童数 259人 教員数 25人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	5時間	野間小
算数	6年	10時間	野間小
体育	5年	3時間	野間小

5年生で算数を1クラス計5時間，6年生で算数を2クラス計10時間担当している。
5年生の体育を3時間担当している。

令和5年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例 25

○ 令和5年度の成果

・ 高学年教科担任加配教諭が時間割や交換授業等をコーディネートすることで，高学年教科担任制がスムーズに導入できた。
・ 教師の高学年担任を受け持つ負担感や抵抗感が軽減された。
・ 高学年教科担任制により，複数の学年・学級の授業を担当することで，職員間の課題意識の共通認識が高まり，高学年部を「ONEチーム」と捉える協働意識が高まった。

○ 令和5年度の課題

・ 時間割調整を行う等，コーディネーターの負担がある。
・ 今後教科担任制を進めるに当たって，構成員が変わることや学校の体制が変わることへの対応を具体的に考え，継続して取り組むことができるようにするための引継を行う必要がある。
・ 高学年担任のみの取組ではなく，学校全体での取組とするために，教育課程への位置付けをどうするかなど検討する事項がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	理科	3～6年	18時間
B	外国語	5･6年	6時間
C	家庭	5･6年	6時間
D	音楽	5･6年	6時間
E	体育	5･6年	9時間

理科専科Aが3～6年の理科を6クラス3時間，SET加配による中学校教諭Bが5･6年の外国語を3クラス2時間，5年生担任Cが3クラス2時間の家庭科，6年生担任Dが3クラス2時間の音楽科，6年生担任Eが3クラス3時間の体育を担当している。

屋久島町立 永田小学校（本務校）

一湊小学校（兼務校）

外国語活動
体育・算数
理科

○ 学校の概要

永田小学校　学級数 3学級　児童数 14人　教員数　7人
一湊小学校　学級数 6学級　児童数 36人　教員数　9人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5･6年	5時間	永田小
理科	6年	3時間	永田小
体育	3･4年	3時間	永田小
外国語活動	3･4年	1時間	永田小
算数	5･6年	5時間	一湊小

本務校で5･6年生の算数を5時間，6年生の理科を3時間，3･4年生の体育を3時間，外国語活動を1時間，兼務校で5･6年生の算数を5時間担当している。

○ 令和5年度の成果

・ 専門性のある教員が指導することにより，単元テストの2校の正答率が1学期の86.3%から2学期は89.4%と向上した。
・ 学級担任の授業時数が減ったことにより，「空き時間に教材研究ができる」「宿題を丁寧に見られる」等の効果があった。
・ 複数の学校を兼務することにより，両校の5･6年生の実態が分かった。2校合同で行った宿泊学習や，鹿児島市立田上小との交流学習では両校児童に指導できた。

○ 令和5年度の課題

・ 雨で体育ができないときなど，突発的な時間割の変更に対応しなければならない。また，片方の学校が行事等により基本時間割通りに組めない場合，もう片方の学校も基本時間割から変更するため，他の学級にも影響が出る。
・ 兼務校における情報交換・意見交換の時間確保が必要である。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	音楽	5･6年	1.4時間
B	図工	1･2年	2時間

1･2年担任Aが5･6年生の音楽を1.4時間，5･6年担任Bが1･2年生の図工を2時間担当している。

西之表市立 榕城小学校（本務校）

下西小学校（兼務校）

外国語

○ 学校の概要

榕城小学校	学級数	23学級	児童数	449人	教員数	35人
下西小学校	学級数	7学級	児童数	90人	教員数	11人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
外国語	5年	4時間	榕城小
外国語	6年	4時間	榕城小
外国語	5年	2時間	下西小
外国語	6年	2時間	下西小

本務校で5･6年生の外国語を2クラスずつ計8時間，兼務校で5･6年生の外国語を1クラスずつ計4時間担当している。

○ 令和5年度の成果

・ 専門性のある教員が指導することにより,英語を使った会話が増え,児童の意欲が高まり,進んで英語を使おうとする姿が見られた。
・ 教科担任制にすることにより,教える教科を分担することができ,教材研究や授業準備等の負担軽減につながった。
・ より多くの目で児童を見ることができ,学級担任だけでは気付かないきめ細かな児童理解につながっている。

○ 令和5年度の課題

・ 複数の学校を兼務することにより,時間割の編成や調整が複雑になる。
・ 配慮の必要な児童等についての綿密な共通理解の場が必要となる。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	理科	3～6年	18時間
B	音楽	3～6年	16時間

理科専科Aが3～6年生の理科を6クラス18時間，音楽専科Bが3～6年生の音楽を16時間担当している。

南種子町立 中平小学校

算数
理科

○ 学校の概要

中平小学校 学級数 9学級　児童数 180人 教員数　15人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	中平小
算数	6年	10時間	中平小
理科	5年	6時間	中平小
理科	6年	6時間	中平小

5年,6年生で算数を2クラス計10時間,
5年,6年生で理科を2クラス計6時間担当している。

令和5年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例 28

○ 令和5年度の成果

・ 高学年担任が低学年の専科として音楽や書写を担当することで,全学年で専科による授業が可能となった。そのことにより教員の担当する授業時数が削減され,教材研究や学級事務等の時間を確保することができた。
・ 担任と専科が学習指導や生徒指導についての情報を共有し,安定した学級経営につながった。
・ 学力向上が図られ,鹿児島県学習定着度調査では前年度より大幅に改善された。

○ 令和5年度の課題

・ 行事や天候等による時間割調整や予備時数の確保など専科と担任との連携が課題。
・ チームとしての指導実践につながるよう,担任と専科が学習指導や学業指導等について情報共有する時間の確保が課題
・ 教科担任制のメリットを全職員で共有するための教科分担の工夫が課題

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	音楽	1･6年	3.4時間
B	家庭	5年	1.7時間
B	書写	2年	2時間
C	理科･社会	3,4年	10.2時間
C	図工	2～4年	7.4時間

5年担任Aが1･6年の音楽を3.4時間,6年担任Bが2年2クラスの書写2時間と5年の音楽1.7時間
専科Cが3,4年の社会･理科を10.2時間,2～4年図工を7.4時間担当している。

令和5年度小学校高学年教科担任制モデル校　実践事例　29

伊仙町立
馬根小学校
（本務校）

阿権小学校
鹿浦小学校
（兼務校）

理科

○ 学校の概要

馬根小学校　学級数　3学級　児童数　14人　教員数　7人
阿権小学校　学級数　3学級　児童数　16人　教員数　6人
鹿浦小学校　学級数　4学級　児童数　27人　教員数　8人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
理科	4年	3時間	馬根小
理科	5年	3時間	馬根小
理科	6年	3時間	馬根小
理科	5年	3時間	阿権小
理科	6年	3時間	阿権小
理科	5年	3時間	鹿浦小
理科	6年	3時間	鹿浦小

本務校で4･5･6年生の理科を1クラスずつ計9時間，兼務校で5･6年生の理科をそれぞれ1クラスずつ計12時間担当している。

○ 令和5年度の成果

- 昨年度から引き続き，同じ専科教員が理科を担当したことで，昨年度の反省を生かして教材研究や準備をすることができた。
- 専科教員が学習の見通しをもてたことで，学習の個性化を図る場面，協働的な学びを図る場面を適宜取り入れて単元を構成することができた。また，ワークシートや振り返りシートの改善もでき，学習支援ソフト等で教員と児童とのやりとりも効果的にできるようになった。
- 遠隔授業を取り入れたことで，児童が協働的に学ぶよさを実感することができた。
- ４年生以上の理科を専科教員が担当したことで，各学年の学習内容や系統性を把握でき，既習事項を復習しながら学習を進めることができた。
- 担任は理科の実験・観察等の準備の負担がなくなり，社会科の授業に専念することができた。

○ 令和5年度の課題

- 授業の曜日が固定されているため，休みや行事が入りやすい曜日の担当校では授業時数が足りなくなることがあり，調整を行うのが難しかった。
- 兼務校の担任との授業調整は，校務支援ソフトと口頭の両方で行ったが，それでも調整に時間がかかることがあった。今後，調整の仕方について更に検討する必要がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	社会	5年	3時間
A	社会	6年	3時間
B	外国語	5･6年	2時間

5･6年担任Aが5･6年生の社会を1クラスずつ計6時間，外国語専科教員Bが5･6年生の外国語を2時間担当している。

令和5年度小学校高学年教科担任制モデル校　実践事例　30

知名町立
知名小学校
（本務校）

下平川小学校
（兼務校）

算数

○ 学校の概要

知名小学校	学級数	10学級	児童数	195人	教員数	26人
下平川小学校	学級数	8学級	児童数	76人	教員数	19人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	5時間	知名小
算数	6年	5時間	知名小
算数	5年	5時間	下平川小
算数	6年	5時間	下平川小

本務校で5･6年生の算数を1クラスずつ計10時間，兼務校で5･6年生の算数を1クラスずつ計10時間担当している。

○ 令和5年度の成果

・ 担当教師が同じ中学校区の高学年の算数を指導することにより，指導の統一性を図ることができた。
・ 同じ授業を次の学校で行うにあたり，1回目の授業の反省をもとに2回目の授業を改善し，より質の高い授業を実施できた。
・ 算数科の5･6年生の授業を同じ教師が連続して行うことで単元の系統性がよく分かり，系統性を生かしたより分かりやすい授業へと改善することができた。
・ 令和5年度の全国学力･学習状況調査において，専科指導を行った算数の正答率が向上し，全国比+0.5であった。
・ 令和4年度と令和5年度の鹿児島学習定着度調査において，専科指導を行った算数の正答率が向上し，令和4年度県比+10，令和5年度県比+13.1であった。

○ 令和5年度の課題

・ 2校で専科授業を実施しているので，それぞれの学校で情報交換や引継ぎに時間がかかる。その時間を今後いかに確保していくかが課題である。
・ 専科授業だけの関わりで児童の様子を詳細に把握するのは難しい。児童の様子を細かく観察していないと様子の変化に気付かないケースが起きる。担当教師と担任の児童に関する共通理解が必要になってくる。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	理科	3･4･5･6年	11.5時間
A	図工	3･4年	3.4時間
B	外国語(活動)	3･4･5･6年	6時間
C	図工	1年	1.9時間
D	図工	2年	2時間

理科専科Aが3･4年生の図工を1クラスずつ計3.4時間，6年担任Cが1年生の図工を1クラス1.9時間，5年担任Dが2年生の図工を1クラス2時間担当している。外国語専科BはSET加配として，本務校含め5校で授業をしている。

龍郷町立円小学校（本務校）

秋名小学校 龍郷小学校（兼務校）

理科

○ 学校の概要

円小学校　学級数 3学級　児童数 7人　教員数 6人
秋名小学校　学級数 4学級　児童数 21人　教員数 8人
龍郷小学校　学級数 5学級　児童数 22人　教員数 10人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
理科	5年	3時間	円小
理科	5年	3時間	秋名小
理科	6年	3時間	秋名小
理科	5年	3時間	龍郷小
理科	6年	3時間	龍郷小
体育	全校	1時間	円小

本務校で5年生の理科を1クラス週3時間担当し，また週1時間の体育を全校体育で指導している。また，兼務校にて，5･6年生の理科を週3時間ずつ担当している。計16時間の専科授業を担当している。

○ 令和5年度の成果

・ 専門性のある教員が指導することにより，学力の定着･向上につなげることができた。
・ 各校の学級担任の授業時数減により，担当校務の仕事や教材研究，その他の学級経営の諸準備に充てる時間を増やすことができ，負担の軽減を図ることができた。
・ 兼務する3校間で教材を調整しながら共有することで，子どもたちの個別の実験が可能となり，集中力を高めさせることができた。

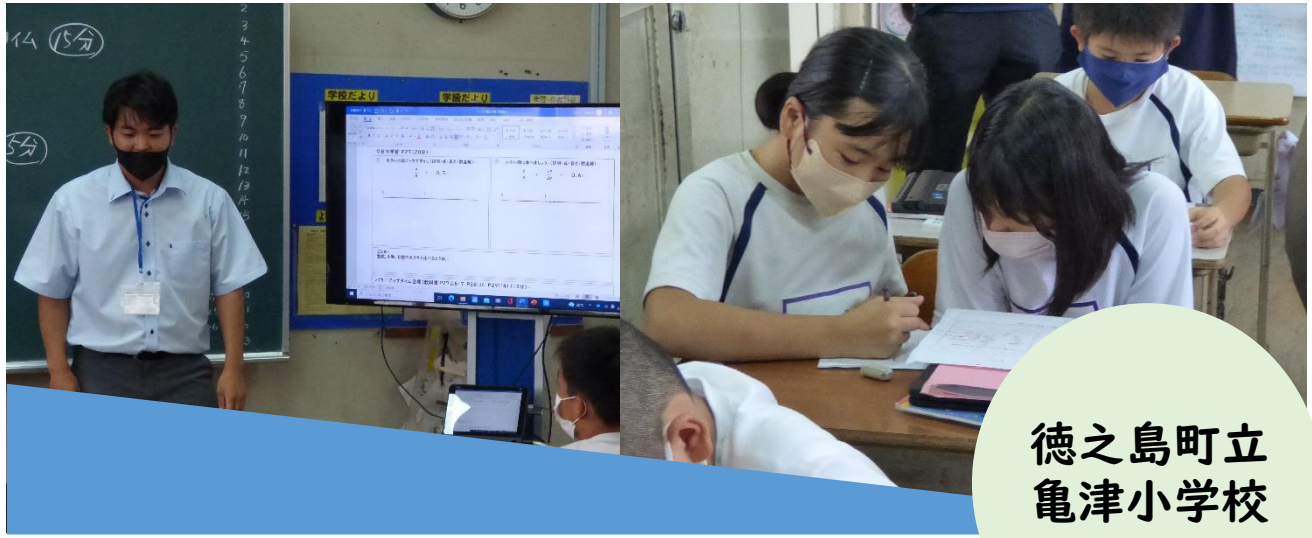
○ 令和5年度の課題

・ 各兼務校での，ヘチマやアサガオ，メダカ等の生物の管理が難しかった。また，プラカップ等の消耗品の購入では，各校ごとの申請に手間取った。
・ 兼務校の児童の生徒指導の面も含む実態把握に時間を要した。
・ 本務校では，体育も担当したが，運動会練習等の時間について，兼務校との調整が必要となり，また，実際の練習に付けないこともあり，運営に苦労した。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	音楽	全校	2時間
B	社会	4年	3時間
B	総合	4年	2時間
B	道徳	4年	1時間
B	体育	全校	1時間
C（龍郷小）	外国語	5年	2時間
C（龍郷小）	外国語活動	4年	2時間

1･2年担任Aが全校の音楽の週1，2時間を，特別支援学級の担任Bが変則複式解消のための中学年の社会や道徳等をそれぞれ担当する。
また，龍郷小のCが外国語･外国語活動を，計4時間担当している。



令和5年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例 32

徳之島町立 亀津小学校

算数

○ 学校の概要

亀津小学校 学級数 20学級 児童数 362人 教員数 25人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	亀津小
算数	6年	10時間	亀津小

5年生で算数を2クラス計10時間，6年生で算数を2クラス計10時間担当している。

○ 令和5年度の成果

- 複数の教員で関わるため，多くの情報交換を行うことができ，児童理解が深まってきた。
- 複数のクラスを教えることで授業の中で感じた課題を速やかに修正・改善できるとともに，同学年での学力の差が減少してきた。
- 十分な教材研究の時間が確保された上に担当する教科も減ったので，教材研究の質が向上し，結果的として児童の学習意欲の向上につながってきた。
- 児童にとっては，中学校に類似した教科担任制を経験することができ，中学校入学時の際のギャップを和らげることができてきた。

○ 令和5年度の課題

- 高学年部の取組を，低・中学年部まで広げることができなかった。低・中学部の教科を一部担当するなど，指導体制についても工夫していきたい。
- 高学年教科担任制による学力面の成果を明確にすることができていない。来年度は，学力検査等の結果を年間を通して計画的・継続的に分析し，高学年教科担任制の精度を更に高めていきたい。
- 1学期に5・6年担任・専科による完全教科担任制を行った。しかし，担任がこれまでよりも学級の児童と関わる時間が減ったことで，生徒指導面での課題が明らかになった。現在は，交換授業を基盤とした教科担任制で指導を行うようにしている。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	社会，家庭，図工，外国語	6年	20時間
B	国語，体育	6年	19.2時間
C	国語，体育	5年	21.2時間
D	社会，家庭，図工，外国語	5年，3年	20.2時間
E	理科	3～6年	20.6時間
F	音楽	3年，5～6年	9時間

5年，6年担任が，交換授業をする体制を基本とし，算数，理科，音楽を専科教師が指導する。また，総合，道徳，学活は，各担任が指導する。

それぞれの担当週時数は，音楽を除いて20時間前後となる。